

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区中田北1丁目9-1  
Tel. (045) 803-6141  
1997年2月2日



今月の予定  
委員会 2月2日  
灰の水曜日 2月12日  
(以降毎金曜日PM4 十字架道行)  
サロン 2月9, 23日  
レジオ 2月14, 21, 28日

委員会だより

<1月5日(日) 12名出席>

【1】財務報告：96年度決算報告(甲斐さん)一委員会了承、1/26に開催される信徒総会に諮る。  
<<補足>>・一般会計：月定献金は、信徒各位の協力によりほぼ予算規模(¥4,300,000)を達成  
・日曜ミサ献金の平均額：¥15,036(特別献金を除く)  
・神父様の献金¥2,000,000を頂いている。  
・建設会計：収入に一般献金からの移し替え¥300,000、愛の献金付替¥300,000、神父様特別献金¥2,250,000、信徒特別献金計¥300,000を含む。

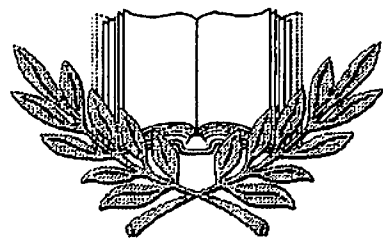
【2】お知らせコーナー：

- (1)委員会メンバー：教会規定に則り、97年度は現メンバーが留任する(97/12迄)。
- (2)第6回「聖歌の集い」準備委員会再打合せが12/1に行われ、石井さんが出席。本年度の聖歌の集いは、4/27(日)に二俣川教会にて開催されることに決定。信徒各位の参加をお願いする。
- (3)1997年度信徒総会：既に、公示済であるが、1/26(日)の9時のごミサ終了後開催する。今年は、大きな議題があるので、信徒各位の積極的なご参画をお願いする。

【3】お話し合いコーナー：

- (1)97年度教会年間予定表：原案に対し、数点の追加を行い、信徒総会にて配布。
- (2)信徒総会のプログラム：原案に対し、議題順序を変更(内容省略)。尚、監査人は、石井さんをお願いした。
- (3)お聖堂の屋根葺き替え工事の件：お聖堂と2階建屋の雨じまいが非常に悪くなっており、放置出来ない状態に至っている。調査の結果、根本的な葺き替えが必須であることが判明しており、補修工事臨時委員会(仮称)を、委員会(清水、花坂、甲斐)、壮年会(石井、橋)、婦人会(位田、七浦)、OB(東原)のメンバーで急遽発足させ、検討を進めて来た。既に、12/22、12/29に臨時委員会を開催して種々検討したが、1)葺き替え工事：約¥14,000,000、2)神父様蔵書室(花壇の傍にプレハブ設置)：約¥2,000,000で合計¥17,000,000が必要との結論に達した。

この金額は、教区より借入れることを基本に検討を進めているが、1/26の信徒総会にて、信徒各位に対して1)工事の内容詳細の説明、2)資金繰りの案の説明を行い、承認を諮って、実行に移していく。



壮年会だより

<1月19日(日) 11名出席>

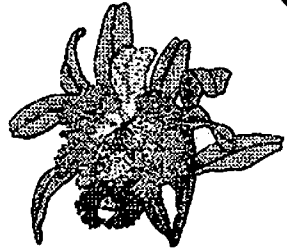
>委員会報告  
>壮年会8年度会計報告：収入 262,367円  
支出 45,692円  
繰越金 216,675円  
>8年度壮年会行事報告  
>壮年会新役員：会長 上野 厚  
副会長 萩原 政弘  
会計・書記 七浦 鑑吉

以上の皆様です。会員の御協力お願い致します。  
>教会の屋根修理について、清水委員長より説明あり。26日の信徒総会にて決定。  
>壮年会新年会を1月26日、信徒総会終了後中国料理爛爛にて行う。会費4000円。

婦人会だより

<1月19日(日) 44名出席>

平成9年度総会、1月の例会と新年会  
・8年度副会長挨拶、年間行事報告、会計報告  
・神父様のお話  
>1月度例会  
・会費は1ヶ月100円と決定  
・例年通りバザーを行う  
清水委員長からお話があり、屋根のふき替えに費用が必要の為皆様のご協力をお願いします。  
・遠足は年に一回とする。次回2月の婦人会迄に候補地を決めたい。  
・いのちの電話：「青空は、ぼくの家」3月14日(金)  
・下山千代子様、膝を骨折入院されました。  
・連絡網等、お持ちでない方はお持ち帰り下さい。  
>新年会では、歌3曲、サイコロゲーム、伝言ゲーム等で盛り上がり楽しい一時を過ごしました。  
>新会員のご紹介(敬称略)  
福井 圭 B地区 太田 清子 B地区  
石崎 博美 C地区  
次回例会 2月16日(日) 次回当番はD地区です。



お知らせ

- >結婚式 1月4日(土)  
トマス小崎 山本 仁  
秋山 玲子  
海老名市上今泉4-11-20  
サンライブ海老名203  
Tel. 0462-33-1479
- >1月12日(日) 成人の日の祝い  
中町 かほり 森田 紀子 山下 誠  
中島 健策 松田 りえ 花坂 彰



模索の補冊 ⑥

山崎 正俊

「お父さんの、上方風軽半身」に就いての参考雑智

(本号の内容は、前号①～③の解説となっています。)

① 仏教遍歴の一例

—— 一遍(いっぺん)上人 時宗の宗祖 (1239-1289)

浄土宗西山派の祖・澄空(しょうくう)の許で学んだことのある父は、そのときの同門・聖達(しょうだつ)上人のもとへ、その子を十三才のときにおくり出す。

父・河野通広(~1263)は武将でありながらも佛紋はいり、如佛(にょぶつ)と号していた。

——華台(けだい)・聖達の両上人のもと、あわせて十二年をすごす。それから父の死に会うとその後を継いで、十年余の世俗の生活のわずらわしさに耐えられず、再度の出家。——

天台は空也派の祖・市の聖とたたえられた、空也(こうや)上人(~972)の、「捨ててこそ」にならう覚悟での、「わが先達なり」とて、「去り逝く陰」のあとに加わることを定め、遊行に徹したまま、世を去る(於兵庫津観音堂)。立教開宗の意図もなければ、宗祖の自覚もない。門下を時衆と呼んでいたことが、後世に時宗と呼ばれることになったもの。一遍も他の初期の聖たちさえ、この宗名を予期するはずがない。

◎「法師の跡」とは。——「跡なきを跡とす」。とどむる「跡」とは如何ん。——いまだに、われ知らず。

「法師の跡」とは、何んぞ。——「いっさいの衆生の念佛するところ」これなり。

となれば佛もわれもなかりけり  
なむあみだぶつ なむあみだぶつ

まことに、一遍(いっぺん)は時宗の宗祖。その後、いまに至るも、「捨てて聖」(すてひじり)と、伝えられている。

◎ 時宗、現在の総本山。藤沢山・無量光院・清浄光寺(俗称、遊行寺)。神奈川県藤沢市西富にある。(とうたくさん・むりょうこういん・しょうじょうこうじ)(俗称・ゆぎょうじ)

——その過去への反省と未来の選択(家族や家庭と係累、この世のすべてのキズナを離れようとして、その死に至るまでの、遊行。それにともなつてなされた、念佛を申す者すべてへの『念佛札』くぼり((賦算))と、一期の行儀『踊り念佛』をつづけること)。

——「念佛札」とは、

南無阿弥陀佛 決定往生 六十万人

と刻印された紙札。念佛を申すものにはだれにでも、「信不信」「浄不浄」の区別なしに与えることにしたのは、熊野本宮・証誠殿での夢告によって励まされたことによる。

「六十万人」とは、「六字名号一遍法、土界依正一遍体、五行離念一遍証、人中上々妙好華」(六字の名号はいっさいを成りたたせている「真理」である。この十界と其処にある一切のもの・あらゆる世界と存在とは、この真理に依っているもの。あらゆる行為が妄念を離れて真実のものとなるのは、この真理を悟ったあかし。このような念佛の行人こそ、泥沼に咲くハチスの華の清らかさを保つ、人の中の最上人)の各句頭文字。「一遍の念佛義」「決定往生」とは、一切の衆生が信心の念佛行に徹する者となり、念佛勸進の目標・「必ず浄土に生まれかわる」に至るということ。(時宗辞典、一遍上人伝などを参照)

② お父さん(藤山寛美) —— 上方演劇の役柄と噂による私生活。世知にたけた判断。

③ 軽半身(京阪神)京都・大阪・神戸 — 京都司教区と大阪大司教区に実現した、震災時の「み姿」。特に新潟地区の「心の真意」。

青少年コーナー



英語と私

鈴木 富雄

「得する話」にはいろいろと有りますが、私のは「語学」から来るその事です。英語が解ると言う事だけで今までの人生の中でどれ程「得」をしたか計りしれません。

9歳のとき山手のセント・ジョセフ・カレッジに入学し英語で教育を受ける機会をあたえられました。父や伯父、伯母をはじめ兄、従兄達もみな同じように英語で教育されていきましたので、英語で喧嘩をし、英語で叱られると言う生活環境の中で育ちました。日本語と英語のチャンポンの生活で他の人が聞くと不思議な顔をされましたが私にとっては楽しい毎日でした。通っていたセント・ジョセフでは様々な国籍の人たちと一緒に遊び同じ事を学んで行く中で日本と外国の文化に接した事は私の信仰を持つきっかけで有り社会に出てからの私の生き方の基本となりました。

36年前、英語を話せると言う事だけで、無試験で外資系の航空会社に入社し違った世界を経験することが出来ました。その頃はよく東南アジアや北米に行く機会が有りいろいろな出会いが有りました。当時、日本語が使えるのは台湾くらいで北米は勿論のこと、マニラ、香港、バンコク、すべて英語でしか自分の意志を通すことが出来ませんでした。今でも、東南アジアの方が英語の普及率が日本国内と比べると遥かに高く、シンガポールなどの多民族国家は英語なしでは生活出来ないと言われています。

英語を知っていて「得」したと言うのは様々な人々との出会いだけでは有りません。シェークスピア、ロングフェロー、スコット、など英米作家の作品は原語で楽しむ事が出来ますし、古典だけでなくニューヨーク・タイムスや今はやりのインターネットで瞬時に世界のニュースを手にする事もできます。コンピューターが無くとも、小さな短波放送受信機でVOA(アメリカ)、BBC(イギリス)、ABC(オーストラリア)、CBC(カナダ)などの英語圏のラジオ放送を直接聞く事もできます。

聞くところによると国連本部や国際機関で働く日本人はわずか600人程度だそうです。例えば、日本は世界銀行の重要なメンバーですが、約5000人の職員中、日本人はたったの120人!この少ない理由の一つとして上げられるのが外国語教育の遅れだと言われています。そこで、特に若い人たちお薦めしますが、中国語であれスペイン語であれ、外国語を是非習って世界を身近なものにして下さい。私の場合は英語ですが、外国語を知っている事は決して有りません。

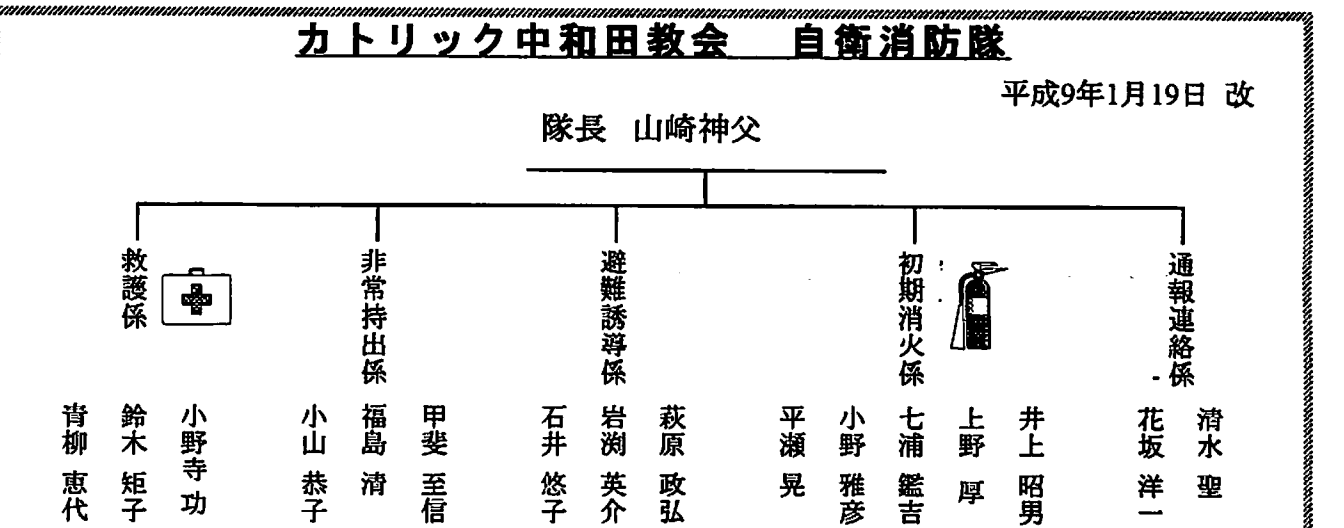
ミサ当番表 (97年2月、3月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
2/2	主の奉獻	井上	森田	3/2	四旬節第三主日	山田	森田
2/9	年間第五主日	青年会	大宮	3/9	四旬節第四主日	青年会	大宮
2/16	四旬節第一主日	婦人会D地区	岩淵	3/16	四旬節第五主日	婦人会A地区	岩淵
2/23	四旬節第二主日	橋	石川	3/23	受難の主日	清水	石川
				3/30	復活の主日	婦人会A地区	森田

※当番の方は10分前には集合して下さい  
 ※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)

一九九七年度 信徒総会プログラム  
 一九九七年 一月二六日

- 一 はじめのことばとお祈り 萩原委員
- 一 山崎神父様お話
- 一 議事進行
- 一 議長 挨拶 委員長
- 一 一九九六年度 教会活動報告 委員長
- 一 一九九六年度 教会財務収支決算報告 甲斐委員
- 一 監査報告 監査人 石井三雄氏
- 一 教会補修工事 補修工事臨時準備委員会
- 一 お聖堂屋根、二階居住区廻り
- 一 資金繰り及び返済方法について
- 一 一九九七年度 教会予算提出審議 甲斐委員
- 一 信徒会会計報告 甲斐委員
- 一 一粒会財務報告、事業報告 小谷一粒会委員
- 一 一九九七年度 教会行事予定説明 委員長
- 一 宣教委員会(第五地区) 七浦鑑吉氏、町田保子氏
- 一 横浜教区福祉委員会 清水聖氏
- 一 質疑応答 萩原委員
- 一 おわりのことばとお祈り 萩原委員



御挨拶

壮年会新会長 上野厚

婦人会新会長 鈴木矩子

今年から二年間、萩原、七浦さんのお二人と共に壮年会の役員をさせていただくことになりました。私自身は壮年会、教会の業務に精通しておりませんが、大変不安であります。経験豊富なお二人に助けていただきながら働かせて頂きたいと思っております。皆様の御協力のほど宜しくお願い申し上げます。

会長という、私にとってあまりにも大きなお役を受けてしまい不安でいっぱいですが、すでに新年会も終わりを滑りだした今、私の出来るやり方だと思っております。一会員として見ていて、また前にやった役員の経験から、役員だけがあまりにも忙しく大変な事、また教会内の事、バザーの奉仕の事などが、一部の人達の奉仕のうえに成り立っている事に、不安を持っておりました。きつと、誰もがお手伝いをしたいと思いつながら「何をしたら良いのか」と戸惑っているのではないのでしょうか。

若い会員が少なく、大方が五十才以上になった今、気力体力も年々弱くなってきた感じがするのは私だけではなかならぬと思います。一人一人が神様からいただいたタラントを上手に使い、教会に於いて自分なりの役割を担い出来るかを考え、皆で支え合って行くようになれば良いと願っています。どうぞ今年も役員一同への協力をよろしくお願い申し上げます。